

令和3年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

<事前評価>

総合評価凡例 5：優先的に実施することが適当
 4：実施することが適当
 3：計画等を改善して実施することが適当
 2：実施の必要性が低い
 1：計画等を見直して再評価を受けることが必要

番号	R3-事前-1						
課題名	小麦の多収と高蛋白質含有率を両立する省力施肥体系の確立						
課題の概要	小麦作で、多収と高蛋白質含有率を両立できる省力施肥体系を確立する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	有効性	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	効率性・妥当性	1人	2人	3人	0人	0人	3.7
	総合評価	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・肥料の選定と施肥のタイミングが重要なので、計画の段階で十分議論して進めてほしい。 ・品種毎に数値目標（収量及び蛋白含有率）を明確に設定しておくこと。 ・多収と高蛋白質含有率を両立する省力施肥技術の確立は生産現場から強く求められている。 ・多収と高蛋白質含有率の両立は、品質向上やブランド化に繋がる。 ・国産小麦生産は国全体の課題でもあり、岡山県としても必要性は高いと認識している。 						

番号	R3-事前-2						
課題名	水田転換畑におけるモモ安定生産のための土壌改良マニュアルの作成						
課題の概要	水田転換畑へのモモ導入の可否判定や、排水不良要因を診断するための園地診断手法を確立し、現地での実践に向けたマニュアルを作成する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
	有効性	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
	効率性・妥当性	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	総合評価	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・水田転換畑では、栽培場所で水分動態が大きく異なるため、実証候補地の水分動態は年間を通して詳細に把握する必要がある。 ・現地実証結果等を早めに公表し、早急な技術確立につなげてほしい。 ・水田転換畑では排水技術対策が未確立で、本研究の必要性は高い。 ・本課題の新規性は高い。 ・水田転換畑でのモモ栽培の研究は、生産減を食い止めるために重要なので、研究費の増額を願う。 						

番 号	R3-事前-3						
課題名	準高冷地での「シャインマスカット」成熟促進技術の確立						
課題の概要	県北部における「シャインマスカット」の安定生産を目指し、特に栽培が難しい準高冷地において糖度上昇と果粒肥大を両立させる栽培技術を確立する。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	1人	3人	1人	1人	0人	3.7
	有効性	1人	3人	1人	1人	0人	3.7
	効率性・妥当性	1人	3人	1人	1人	0人	3.7
	総合評価	1人	4人	0人	1人	0人	3.8
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・初期生育を促進する方法が成熟に影響するかどうか検討してほしい。 ・果粒軟化遅延の要因解明や対策技術に成果が見込めると考える。 ・長期安定出荷が生産現場から求められており、準高冷地での高品質化に関する研究が必要である。 ・県南産地とのリレー出荷が可能になれば、さらなるブランド力強化につながる。 						

番 号	R3-事前-4						
課題名	加工・業務用キャベツの周年安定供給技術の確立						
課題の概要	県内のキャベツ産地でリレー出荷により周年供給できる生産体系を整えるため、県中南部での冬春どり安定生産技術や、準高冷地での夏どり安定生産技術を確立する。また、生産量拡大のため、水田転換畑で栽培する場合の土壌管理技術を確立する。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	必要性	1人	2人	3人	0人	0人	3.7
	有効性	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	効率性・妥当性	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
	総合評価	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培地、季節毎に適した既知の研究成果を活用することが重要である。 ・現状の課題に対応した研究内容である。投入エフォートが功を奏すように連携を強化して効率的に進めてほしい。 ・周年供給体制が確立でき、産地の一層のブランド化が図られる。 ・生育の障害を取り除くことができれば生産・出荷の安定につながる。 ・作り易い品種選定や、スマート農業に向く栽培方法を考察する必要がある。 						

注意事項

- ① 各評価委員の評価内容を基に、重複する評価内容を取りまとめて記載する等、簡潔にとりまとめてください。また、この資料は、HPで公表する予定ですので、特定の個人を指す事例や特許取得等に支障がある内容は表現を改める等、個人情報の保護や知的財産権の取得等に支障がないよう、配慮してください。
- ② 評価結果欄は全ての項目について、得点を付けた人数を記載し、平均点を少数第1位で記載してください。

令和3年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

<中間評価>

総合評価凡例 5：優先的に継続することが適当 4：継続することが適当
 3：計画変更して継続することが適当 2：継続の必要性が低い
 1：中止すべきである

番 号	R3-中間-1						
課題名	天候対応型炭酸ガス施用による施設栽培ナス多収技術の確立						
課題の概要	施設栽培にナスで、晴天及び曇天に対応した費用対効果の高い炭酸ガス施用方法を明らかにする。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成可能性	0人	2人	3人	1人	0人	3.2
	〃（阻害要因）	1人	2人	2人	1人	0人	3.5
	必要性	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	有効性	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	効率性・妥当性	1人	3人	1人	1人	0人	3.7
	総合評価	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・気温，日射，炭酸ガス濃度の複合制御を検討する必要はないか考慮してほしい。 ・計画の延長はやむを得ない。計画を着実に達成するためには、研究の進捗状況を踏まえたエフォートの補強も必要。 ・経営評価をしっかりと行い、普及できる技術として確立してほしい。 ・本技術の確立により、所得向上やブランド化が期待できる。 ・年間の収量増を目指し、効果的な施肥や整枝法を確立して頂きたい。2年の研究延長で確かな技術の普及となるように期待する。 						

注意事項 事前評価と同じ

令和3年度岡山県農林水産総合センター農業研究所試験研究課題評価結果票

<事後評価>

総合評価凡例 5：著しい成果が得られた 4：十分な成果が得られた
 3：一定の成果が得られた 2：見込んだ成果を下回った
 1：成果が得られなかった

番号	R3-事後-1						
課題名	ブランド米「アケボノ」の安定多収生産技術の確立						
課題の概要	アケボノが多収となる生育指標を明らかにし、生育の状況に応じた管理を行うことで、品質を維持し安定多収を目指す。						
評価結果	区 分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	有効性(効果)	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	有効性(目的以外の成果)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
	効率性・妥当性(費用対効果)	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
	効率性・妥当性(計画)	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	成果の活用・発展性	0人	5人	1人	0人	0人	3.8
	総合評価	0人	5人	1人	0人	0人	3.8
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・本課題で得られた関係式の汎用性を早急に調査してほしい。 ・速やかに本技術を生産現場に定着させ、生産量の増加に結びつけていただきたい。 ・本技術の普及定着に期待している。 ・地道な研究から、700kg/10aを実現する目安を導き出し、栽培農家での活用が望まれる。 ・業務用米に特化した研究は良い着眼点であったと思う。倒伏軽減、収量増の結果は農家に大いに貢献できる技術になるであろう。 						

番号	R3-事後-2						
課題名	モモのオリジナル新品種の高品質安定生産技術の確立						
課題の概要	農家経営の安定と県産ブランド推進を図るため、早生から晩生までのオリジナル品種のシリーズ化を目指した高品質・安定生産技術を確立する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	有効性(効果)	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
	有効性(目的以外の成果)	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	効率性・妥当性(費用対効果)	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	効率性・妥当性(計画)	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	成果の活用・発展性	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
	総合評価	2人	4人	0人	0人	0人	4.3
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな品種の問題点を解決する非常に意義のある研究である。 ・複数のオリジナル新品種の育成に順次対応し、高品質安定生産技術を着実に開発したことは高く評価できる。 ・開発された技術は生産者の規模拡大や新規就農者などに広く活用され、モモの岡山ブランド推進につながるものと期待される。 ・桃のオリジナル品種の要望は高いと聞く。清水白桃に続く品種開発をさらに進めていただきたい。 ・過去9年に渡る研究成果が表れてきたことに感謝したい。桃の開発や栽培技術確立の為には、引き続き研究をお願いしたい。 						

番号	R3-事後-3						
課題名	加温栽培「シャインマスカット」の高糖度・高品質安定生産技術の確立						
課題の概要	「シャインマスカット」の加温栽培における結実不良や糖度不足などの原因を明らかにし、高糖度で高品質な果実の安定生産技術を確立する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	有効性(効果)	1人	3人	2人	0人	0人	3.8
	有効性(目的以外の成果)	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	効率性・妥当性(費用対効果)	1人	5人	0人	0人	0人	4.2
	効率性・妥当性(計画)	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	成果の活用・発展性	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
	総合評価	1人	4人	1人	0人	0人	4.0
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・今回得られた成果をいかに生産者に理解してもらうかが重要である。 ・得られた成果を岡山県産「シャインマスカット」のブランド力強化に活かしていただきたい。 ・他県との競争が激しいシャインマスカットのブランド力強化のため、産地と連携して技術の実用化・普及定着を急いでほしい。 ・今後の継続研究を期待する。 ・5年の研究成果ができたと認識している。今後、補光や炭酸ガス施用の技術改良などを追加検討していただきたい。 						

番号	R3-事後-4						
課題名	ブランドいちご生産技術の確立						
課題の概要	「くだもの王国おかやま」のブランド用イチゴとして選定した、「おいCベリー」の高品質の安定生産技術を確立する。						
評価結果	区分	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
	目標達成度	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
	有効性（効果）	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	有効性（目的以外の成果）	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
	効率性・妥当性（費用対効果）	0人	0人	6人	0人	0人	3.0
	効率性・妥当性（計画）	0人	1人	5人	0人	0人	3.2
	成果の活用・発展性	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
	総合評価	0人	4人	2人	0人	0人	3.7
助言・指摘事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・初期収量を高めるためには、夏季高温下でも花芽分化を安定的に早める技術開発が必須である。 ・早期安定生産技術や中休み軽減技術などが開発され、当初の目標を十分に達成した。 ・生産現場における普及・実用化を図ってほしい。また、岡山発の県独自品種の育成にも期待している。 ・安定生産に向けた技術開発を今後も続けていただきたい。 ・大粒の苺を連続で生産するのは難しいが、ここまでの研究結果を農家に普及することが課題である。 						

注意事項 事前評価と同じ